

山陰 五十猛 だより 秋号 VOL.18

★暑かった夏も終わり、過ごしやすくなってまいりました★

今年の夏も暑い日が続きましたがみなさまはいかがお過ごしでしょうか？
季節の変わり目は体調を崩しやすいので、十分に気をつけてくださいませ。

秋と言えば「食欲の秋」ということで、和田珍味から山陰のうまいもん情報を今回もお届けします！
たっぷり本力をつけてくださいね。どうぞ最後までお楽しみください!!



ふるさと風景15 石見銀山を語る 石見銀山世界遺産センター

さて、今回お届けする「ふるさと風景」は、たいてい銀子で「石見銀山世界遺産センター」へ行って参りました。
石見銀山世界遺産センターは、2007年7月世界遺産登録された「石見銀山」の歴史と技術を紹介する展示や、
文化的景観について学習し体感できる施設です。石見銀山の歴史をちよと予習してから、ゆっくりと現地を
鑑見光してみるのもいいですね。また、大田市観光協会の方が常駐し、鑑見光客の移動手段や宿泊など
の小情報を教えてくれます。

弘治3年(1557年)の正業見町(おおきまち)天皇の即位に際し、毛利元就が献上
したといわれる「征取納付銀(おとりおさめちうぎん)」です。レフォリカは5倍大の大きさ
で作られていて、一緒に並んで写真撮景が可能です。☺ →

記念
撮景♡

石見銀山世界遺産センターではCGや映像を使って、世界遺産「石見銀山遺跡」の歴史を解説
してくれます。本で読むより音や映像で説明されたほうが分かりやすいですよ。たいてい銀子は
「すごいな〜」と時代をタイムスリップした気持ちになってしまいました。

牛舎に、江戸時代初期の吹き屋(銀の精錬所)が実寸の大きさで再現されているのがとても
迫力があります。轟吹(すごき)と言われる、銀鉱石に鉛を加え炭の熱で溶かす作業が熱そうでした。
今と違って電気もないので、全て人が時間をかけて作り出しているんですね。

この銀の精錬技術は「灰吹法(はいぶきほう)」というそうです。

さて、火に風を送る道具、大ふいごを実際にたいてい銀子で体験してきました! 力いっぱい押し、風
を出してみました。ちよと1日中作業を続けるのは大変そうです。

糸田かく再現されたジオラマも必見ですよ。当時の風景が伺えます。



全400台の駐車場を構えているのでマイカーで出向くのもオススメですよ。
定期的に世界遺産センターから、大森代官所跡前まで路系泉バスが
出ています。路系泉バスの終点、大森代官所跡前から 和田珍味
銀山店もすぐ近くですよ。ぜひ立ち寄りくださいませ!!



スタッフ紹介

営業 川上勝則さん

Q 和田珍味のおすすめの商品は？

A. ふぐ味蘸粉・ふぐ一夜干です。
どちらもたまらないおいしさです!

Q これからの目標は？

A. 工場の方が一生懸命、作ってきた
商品をムダにせず販売してい
たいです。

頼りにして頂
かばりましょ



歌が上手な
川上さん。
とっても
神イデス。

スタッフ紹介

販売 田平麻梨子さん

ムードメーカーの田平さん。
彼女の周りは笑いが絶えません。

Q 和田珍味のおすすめの商品は？

A. 11カロールです。そのまま食べて食べら
れるのでおやつやおつまみにオススメですよ。

Q これからの目標は？

A. ミスをしないよう心がけたいです!



かわいひ笑顔を
一緒にがんばり
ましょ

